

第3節

豊かな市民生活と元気な地域を支える

「仕事づくり」

□就労促進・起業支援

□農林畜産業等

□商工業

□観光

□定住・交流

(1) 就労促進・起業支援 ～子育ても仕事もあきらめないまち～

ア 女性の就労の促進

イ 若者・高齢者などの就労の促進

施策の概要

平成30年4月にオープンした女性活躍推進プラットフォーム「アシスタ lab.」の1周年記念イベントを開催しました。本市の女性起業家を、「みよしアントレーヌ」と認定する制度を創設し、その認定式および会員間の交流を行いました。女性の就業・起業を支援する各種セミナーや会員の起業に向けた事業試行のためのトライアル支援事業を実施しました。

また、若者・高齢者などの就労・起業を促進するため、補助金の充実など環境整備を行いました。

施策の成果

アシスタ lab.では、個別面談やトライアルを支援することにより、起業支援を行いました。また、起業継続支援のため、みよしアントレーヌとして47人の女性起業家を認定し、市広報でPRを行うことにより、事業継続及び拡大への支援を行いました。

事務事業の実施状況

■ 女性活躍推進プラットフォーム事業（地域振興部、産業振興部）

○ 女性の就業・起業支援事業（地域振興部）

女性が、それぞれのライフステージにあわせ、柔軟で多様な働き方を選択できるよう、起業セミナーや再就職セミナーを実施するとともに、個別面談やトライアルをサポートするなど、就業・起業の支援を行い、みよしアントレーヌ47人が誕生しました。アシスタ lab.会員によるマルシェを「みよしネウボラフェスタ」で開催し、子育て家庭などへPR活動を行い、利用促進を図りました。

（各種セミナー27回／個別相談会24日／交流会1回など）



アシスタ lab.



1周年記念イベントの様子

○ 女性起業支援事業（地域振興部）

活力ある社会創生、産業の活性化を図るため、新たに市内で起業する女性に対し、起業に必要な経費の一部を助成する事業で、3件の支援を行いました。

○ 若者・シニア起業支援事業（産業振興部）

若者の活力ある社会創生，シニア層の生涯現役社会の推進による経済の活性化を図るため，新たに市内で起業する20歳以上39歳以下の若者，40歳以上のシニアの新規起業者に対し，起業に必要な経費の一部を助成する事業で，若者1件，シニア4件の助成を行いました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
女性の就業・起業支援事業	11,554	国県支出金 2,500 その他 7,397	1,657	アシスタ lab. 会員数 255人 アシスタ lab. 利用者 延 2,501人 みよしアントレーヌ 47人
女性起業支援事業	6,000	その他 6,000		3件
若者・シニア起業支援事業	7,342	その他 7,342		若者起業1件，シニア起業4件
計	24,896	23,239	1,657	

(2) 農林畜産業等 ～農業にふれたいくなるまち～

ア 農林畜産業等の企業的経営の推進

イ 楽しく農畜産業等ができるまちづくり

施策の概要

農業経営基盤を強化し収益性の高い農林畜産業を推進するため、認定農業者などの育成、アスパラガスや白ねぎなどの重点品目の新規植栽などを支援し、農産物の生産振興と経営安定を図りました。また、畜産経営支援のためのヘルパー利用や予防接種の助成など、畜産経営の安定化を図りました。

施策の成果

重点品目（野菜5品目・果樹3品目・花き3品目）を中心に生産拡大を図り、ほうれんそう・白ねぎ・ぶどうなどの作付面積が増加しました。

また、畜産の経営規模の拡大支援、労働時間の短縮や伝染病を予防する施策により、畜産の経営基盤の安定につなげました。

事務事業の実施状況

■ 【農畜産物の生産力強化事業（農産物）】（産業振興部）

＜グリーンアスパラガス新規植栽支援事業＞

グリーンアスパラガスの新規植栽を促進するため、ほ場やかん水施設の整備、機械導入を支援しました。

＜振興作物産地化推進支援事業＞

重点品目の産地化を進めるため、白ねぎ・ほうれんそうの作付拡大、機械購入などに支援しました。

＜果樹・花き生産振興支援事業＞

ぶどう・ゆずの生産振興のため、新規植栽や規模拡大に必要なほ場の整備に支援しました。

＜出荷野菜・花きハウス導入・かん水施設整備事業＞

出荷野菜や花きの生産を促進するため、ビニールハウスの導入とかん水施設の整備を支援しました。

＜麦・大豆等生産振興推進事業＞

加工品原材料の安定供給を図るため、麦・大豆・山の芋及びカーターピーナッツの栽培の拡大を支援しました。

■ （新）薬用作物等の産地化等の検討（産業振興部）

薬用作物等の産地化の検討のため、先進地視察やセミナーへ参加しました。また、県立広島大学に本市の気候風土に適した栽培可能な品目などの調査研究を委託し、実証を行う品目の選定を行いました。

■ 【農畜産物の生産力強化事業（畜産）】（産業振興部）

和牛経営規模拡大をめざす畜産農家への支援として、飼養管理の省力化と自給飼料の確保による低コスト化を図るため、水田放牧牛の導入と条件整備への支援を行いました。

また、三次産まれ、三次育ちの「みよし和牛」の確立を図ることを目的として、和牛肥育農家に対し三次産素牛の購入に必要な経費への支援を行いました。

酪農経営支援として、乳用牛の家畜伝染病の発生と拡大を防ぎ、衛生的な酪農経営を確立するため、家畜伝染病の定期検査や予防接種に要する経費への支援を行いました。また、酪農家の年中無休状態の解消と労働安全衛生対策の支援として、定期的または臨時的に利用するヘルパーに要する経費に対して助成を行いました。また、酪農経営規模の拡大と経営の安定化に向け、乳用牛の増頭または更新に要する経費や牛舎の新築、生乳生産に関連する機械導入に要する経費への支援を行いました。



出荷野菜・花きハウス導入・かん水施設整備事業
ビニールハウス設置を支援

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
グリーンアスパラガス新規植栽支援事業	2,535		2,535	申請件数 7件 新規植栽面積 31.4a
振興作物産地化推進支援事業	1,907		1,907	白ねぎ 1件 ほうれんそう 1件 新規植栽面積 41.2a
果樹・花き生産振興支援事業	2,104		2,104	ぶどう 1件, ゆず 1件 新規植栽面積 26.6a
出荷野菜・花きハウス導入・かん水施設整備事業	13,363		13,363	ハウス導入・かん水施設整備 13件 新規ハウス導入面積 66.6a
麦・大豆等生産振興推進事業	9,317		9,317	対象作付面積 93.17ha (37件)
薬用作物等の産地化等の検討	928		928	県立広島大学調査研究委託 セミナー参加・先進地視察 (11件)
堆肥購入促進事業	2,123		2,123	水稲 40件 1,460 t 野菜等 54件 663 t
畜産経営支援事業	4,204		4,204	和牛の里創造事業 8件 肉用牛ヘルパー利用助成 17戸 アカバネ病等予防対策事業 860頭 肥育和牛導入支援事業 10頭
和牛改良推進事業	5,059		5,059	優秀繁殖雌牛保留 37頭 優秀繁殖雌牛導入 6頭 優秀受精卵移植 9頭
酪農経営支援事業	11,625		11,625	酪農ヘルパー利用助成 12戸 乳用牛導入・更新促進事業 52頭 酪農飼養環境整備事業 2件
計	53,165		53,165	

ウ 美しい風景を伝えるための農業

施策の概要

農村や森林のもつ環境保全機能を維持し、豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、地域や集落などの活動を支援しました。また、有害鳥獣による農作物被害の防止や農業基盤の整備に対する支援を行いました。

施策の成果

中山間地域等直接支払制度及び多面的機能支払制度により、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のための地域の共同活動や営農活動、農地などの保全活動を支援することにより、農業生産活動の向上が図られました。

手入れがされていない森林を整備することにより、森林のもつ公益的機能の維持が図られたほか、森林・林業の体験活動を通じて森づくりに対する理解を深めることができました。

また、有害鳥獣による農作物被害を防止するため、農業者や地域が防護柵などを設置する取組を支援するとともに、有害鳥獣駆除班員の担い手育成を図るための支援を講じるなど、農作物被害の低減につなげました。さらに、地域のニーズに応じた農地・農業水利施設などの整備により、生産効率を高めるとともに、担い手への農地集積を促進しました。

事務事業の実施状況

■ 中山間地域等直接支払交付金事業（産業振興部）

農業生産条件の不利な中山間地域などにおいて、集落などを単位として、農用地を維持・管理していくための取り決め（協定）に基づき農業生産活動などを行う場合に、面積に応じて補助金を交付しました。

■ 多面的機能支払交付金事業（産業振興部）

農業・農村の有する国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成などの多面的機能の維持・発揮を図るために地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進しました。

■ 環境保全型農業直接支払交付金事業（産業振興部）

地球温暖化防止や生物多様性保全など、自然環境の保全に資する営農活動に地域でまとまりをもって取り組んだ農業者団体などの支援をしました。

■ 農村環境保全事業（産業振興部）

中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度により交付金を受けていない地域における農地・水路・農道・ため池などの農業施設や農村部の住環境を守る活動に対し、地域の共同活動団体や個別の小規模農家に補助金を交付しました。

■ 人・農地プランの推進（産業振興部）

地域の話し合いにより、地域の現況と将来の課題を共有し、今後の農地利用を担う中心経営体へ農地を集約化する将来方針（人・農地プラン）の作成を3地区で取り組まれました。

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

令和元年度末までの市内個別プランは39地区になりました。

また、農地中間管理機構を活用した農地集積により担い手へ29.37ヘクタールの農地集積を推進しました。

■ 有害鳥獣被害防止柵設置事業（産業振興部）

イノシシなどによる農作物被害を防止するため、生産者個人が設置する防護柵や地域または集落で一体的に設置する防護柵の資材、モデル集落の活動支援や、駆除班による捕獲に対する支援、駆除班の担い手の育成に対して支援しました。

■ 森林環境保全直接支援事業（産業振興部）

<市有林・分収林>

森林の有する多面的機能を発揮させるため、間伐などの森林施業とこれと一体となった森林作業道の開設などを支援しました。

■ （新）森林経営管理事業（産業振興部）

平成31年4月1日から施行された「森林経営管理法」に基づき、森林所有者に対し意向調査を実施しました。また、意向調査を受けゾーニングなどを行い次年度に向けて整理しました。

■ ひろしまの森づくり事業（産業振興部）

<環境貢献林整備事業>

15年以上手入れがされないまま放置された人工林について、間伐などの手入れを行うことで、森林が持つ公益的な機能を高める取組を支援しました。

<里山林対策>

林業体験活動や手入れのされていない里山林の整備を行い、森林、林業に対する理解を深める取組を行いました。



ひろしま「山の日」県民のつどい in みよし

■ 小規模農業基盤整備事業（産業振興部）

地域農業の振興を図るため、老朽化して危険なため池の改修、危険度が高く緊急的なため池の整備事業、かんがい排水事業を県単独の補助事業を活用して行いました。

■ 農地耕作条件改善事業（産業振興部）

担い手への農地の集積・集約化を推進するため、農業水利施設の整備及び農作業道の整備を、国庫補助事業を活用して行いました。

■ 農村地域防災減災事業（団体営）（産業振興部）

防災・減災対策を実施することにより、農業生産の維持、農業経営の安定及び住民の安全の確保を図るため、国庫補助事業を活用してため池・頭首工の工事を行いました。

■ 農業水路等長寿命化・防災減災事業（産業振興部）

農業水利施設の長寿命化、水管理労力軽減や維持管理コスト低減化、施設の機能低下が生じている箇所についての機能回復を目的として、国庫補助事業を活用して施設整備を行いました。

■ 農村地域防災減災事業（ため池等整備事業）（県営）（産業振興部）

耐震診断調査で、健全度が低いと判定されたため池の整備に対し、負担金を支出しました。

■ 備北南部地区広域営農団地農道整備事業（県営）（産業振興部）

2期地区の工事・測量設計・用地買収などの事業に対し、負担金を支出しました。

■ 幹線林道比和・新庄線整備事業（県営）（産業振興部）

「君田・布野区間」の君田町茂田地区・布野町上布野明谷地区の開設工事に対し、負担金を支出しました。

■ 小規模崩壊地復旧事業（産業振興部）

人家の裏山のがけ崩れや浸食などによって危険となっている箇所について、山留工・山腹工などの工事を県単独の補助事業により行いました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
中山間地域等直接支払交付金事業	470,863	国県支出金 353,146	117,717	集落協定 246件 (446,741) 個別協定 15件 (24,122) 協定面積 3,509ha
多面的機能支払交付金事業	224,833	国県支出金 171,624	53,209	農地維持 158件 (104,762) 協定農地 3,546ha 資源向上（共同）150件 (61,706) 協定農地 3,448ha 資源向上（長寿命化）29件 (58,365) 協定農地 1,362ha
環境保全型農業直接支払交付金事業	2,264	国県支出金 1,697	567	堆肥の施用 4件 4,610a カバークロープ 1件 171a 有機農業 1件 123a
農村環境保全事業	3,110		3,110	補助金 38件
有害鳥獣被害防止柵設置事業	12,935		12,935	個人 229件 集落 18件
鳥獣被害防止対策モデル集落推進事業	1,646		1,646	4集落
有害鳥獣駆除班活動支援事業	19,215		19,215	駆除頭数 1,799頭（イノシシ 1,356頭、シカ 443頭）
狩猟免許（第一種猟銃）取得支援事業	200		200	4人
ニホンジカ捕獲報奨金	1,325		1,325	狩猟期間捕獲頭数 530頭

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		事業費
		特 定 財 源	一般財源	
鳥獣被害防止総合 対策交付金事業	2,118	国県支出金 82	2,036	特定外来種講習会 2 回 緩衝帯整備 1 地区 0.83ha
森林環境保全直接 支援事業（市有 林）	8,557	国県支出金 5,819	2,738	間伐 2 地区 7.23ha 路網整備 2 地区 1,353m
森林環境保全直接 支援事業（分収 林）	37,171	国県支出金 29,289 起債 5,500	2,382	間伐 6 地区 34.8ha 路網整備 2 地区 3,285m
森林経営管理事業	2,246		2,246	意向調査対象 筆数 340 筆 面積 134.89 ha （森林環境譲与税充当）
ひろしまの森づく り事業（環境貢献 林整備事業）	33,990	国県支出金 33,990		人工林整備 45 地区 72.11ha
ひろしまの森づく り事業（里山林対 策）	29,300	国県支出金 29,300		里山林整備 10 地区 16.87ha 体験学習活動 7 団体 576 人参加
小規模農業基盤整 備事業（ため池緊 急整備） 《繰越明許分》	9,000	国県支出金 4,500 起債 2,200 その他 2,250	50	ため池緊急整備 3 件 9,000
小規模農業基盤整 備事業（かんがい 排水） 《繰越明許分》	3,000	国県支出金 1,500 起債 700 その他 750	50	かんがい排水事業 1 件 3,000
農地耕作条件改善 事業 《下段：繰越明許分》	3,600	国県支出金 2,520 起債 500 その他 540	40	三次第 3 地区 1 件（橋梁整備） 3,600
	75,400	国県支出金 52,664 起債 11,300 その他 11,368	68	三次第 2 地区 1 件（農地整備） 19,200 三次第 3 地区 5 件（用排水路、取水ゲート） 56,200
農村地域防災減災 事業（団体営） 《下段：繰越明許分》	10,000	国県支出金 10,000		ハザードマップ作成
	62,000	国県支出金 60,140 起債 900 その他 930	30	森保地区 頭首工改修工事 1 件

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		事業費
		特 定 財 源	一般財源	
農業水路等長寿命化・防災減災事業 《下段：繰越明許分》	4,000	国県支出金 2,800 起債 600 その他 600		酒屋第2地区 パイプライン改修工事 1件
	50,000	国県支出金 35,000 起債 7,500 その他 7,500		酒屋第2地区 パイプライン改修工事 1件
農村地域防災減災事業(ため池等整備事業)(県営) 《下段：繰越明許分》	658	起債 400 その他 146	112	【県営事業負担金】 湯口谷池負担割合：市7.0% 地元2% 事業費 7,100 狩又池負担割合：市7.0% 地元2% 事業費 220
	7,260	起債 4,900 その他 1,780	580	【県営事業負担金】 湯口谷3号池負担割合：市7% 地元2% 事業費 60,000 岩神池負担割合：市10% 地元10% 事業費 3,000 大池負担割合：市7% 地元2% 事業費 14,000
備北南部地区 広域営農団地 農道整備事業 《下段：繰越明許分》	2,700	起債 2,500	200	【県営事業負担金】 負担割合：10.0% 事業費 27,000 道路工・用地補償
	14,300	起債 13,500	800	【県営事業負担金】 負担割合：10.0% 事業費 143,000
幹線林道比和・新庄線整備事業 《下段：繰越明許分》	3,029	起債 3,000 その他 21	8	【県営事業負担金】 負担割合：5% 県営工事費負担金 3,029 本工事費等 60,587
	7,552	起債 7,500 その他 52		【県営事業負担金】 負担割合：5% 県営工事費負担金 7,552 本工事費等 151,045
小規模崩壊地復旧事業 《下段：繰越明許分》	11,104	国県支出金 5,552 起債 4,100 その他 1,388	64	事業費 17件 11,104
	50,400	国県支出金 25,200 起債 18,800 その他 6,299	101	事業費 3件 50,400
計	1,163,776	942,347	221,429	

エ 農林畜産業等に携わる人材育成

施策の概要

自立した農業経営をめざす認定新規就農者の営農初期段階の機械投資などの負担軽減と早期の経営安定を図るため、機械、施設などの導入に対する支援を行いました。

また、農業従事者の高齢化、後継者不足などが進む中、地域農業の振興と経営発展を図るため、新たな農業の担い手として従業員を雇用する集落法人などに対する支援を行いました。

施策の成果

新たに4経営体を認定新規就農者として認定し、認定新規就農者は18経営体となりました。県、JA、(株)JA アグリ三次及び市が連携し、新規就農者の育成・確保を図りました。また、就農フェアなどにより令和2年度の研修生3人の人材確保に努めました。

認定農業者では、担い手型の法人の設立など、新たに3経営体を認定し、111経営体となりました。

集落法人など担い手の連携のしくみづくりに取り組みました。また、集落法人などが、農業の担い手となる従業員を新たに3人雇用しました。

事務事業の実施状況

■ 【担い手育成・強化事業】（産業振興部）

＜農業次世代人材投資事業＞

次世代を担う農業者となることをめざし、独立、自営就農する認定新規就農者に対し、経営開始時の経営確立を支援しました。

＜認定新規就農者育成支援事業＞

認定新規就農者の農業経営の早期安定化を図るため、栽培条件の整備や技術習得などの経費に対して支援を行いました。

＜認定農業者等育成事業＞

農業所得の向上と経営安定を図るため、農地の利用集積により経営規模の拡大を行った法人を含む認定農業者を支援しました。

＜集落法人等新規雇用事業＞

新たな農業の担い手として、新規に従業員を雇用した集落法人などの雇用に係る経費に対して支援を行いました。

＜農業参入企業支援事業＞

資本金や経営力を有する企業の農業参入を促進し、地域農業の新たな中心的担い手として誘導・育成のため、機械や施設などの導入に係る経費に対して支援を行いました。

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
農業次世代人材投資事業	14,871	国県支出金 14,871		10人
認定新規就農者育成支援事業	500		500	新規就農者 1人
認定農業者等育成事業	18,146	その他 18,146		集積面積 151.7ha 23 経営体 (内訳：18 法人, 5 個人)
集落法人等新規雇用事業	2,700	その他 1,854	846	集落法人等雇用者 3人
農業参入企業支援事業	2,959		2,959	支援企業 1社
計	39,176	34,871	4,305	

(3) 商工業 ～みんなが働くことができるまち～

ア 商工業の活性化

施策の概要

活気のある商工業の振興のため、中小企業者の経営基盤の確立や産学官連携の推進による特色ある事業を推進しました。

施策の成果

地域産品開発支援事業や三次産品ブランド化事業などを通じて、新規事業の展開を推進しました。また、プレミアム付商品券発行事業や、リフォーム支援事業により新たな消費が喚起され、さらに、経営支援設備投資事業や預託融資制度などにより中小企業の経営基盤の強化を行いました。

事務事業の実施状況

■ プレミアム付商品券発行事業（産業振興部）

地元消費の拡大、地域経済の活性化策として、三次商工会議所及び三次広域商工会を通じて10%のプレミアムが付いた商品券50,000冊（総額5億5,000万円）を発行しました。

■ 【みよし産業応援事業】新規事業展開者支援（産業振興部）

地域資源を活用した新たな商品開発を支援するため、地域産品開発支援事業2件、三次産品ブランド化事業6件の特色ある新たな取組について支援を行いました。

■ リフォーム支援事業（産業振興部）

建築関連工事の促進により地域経済の活性化及び市民の住環境の向上を図るため、リフォーム136件（店舗6件、住宅130件）に要する経費に対して補助を行いました。

■ 経営支援設備投資支援事業（産業振興部）

事業の維持、拡大に必要な設備などの新設又は更新に要する経費に対して補助を行いました。補助件数は11件でした。

■ 小規模事業者経営改善資金利子補給事業（産業振興部）

企業の経営の安定と発展を図るため、日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金を利用した36事業者に対して利子補給金を交付し、金利負担の軽減を行いました。

■ 中小企業信用保証料補助事業（産業振興部）

中小企業者の経営の安定・発展や新規創業を支援するため、広島県信用保証協会の保証により創業融資を受けた8事業者に対して信用保証料を助成しました。

■ 中小企業融資支援制度事業（産業振興部）

中小企業者の経営の安定・発展を図るため、市内金融機関と提携し、預託制度により長期・低金利で利用できる融資制度を運用しました。

融資制度の新規利用は、小規模事業資金が1件、中小企業経営安定資金が4件ありました。

■ 産学官連携事業（産業振興部）

三次イノベーション会議の事業として、研究開発事業への補助、事業者と大学の研究者とのマッチング、連携の成果発表、特別講演会、先進地視察などを通じて、県立広島大学のシーズ（研究技術、成果）を活かし、事業者の新規事業への参入、新製品の開発、経営の安定などを進める取組を進めました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
プレミアム付商品券発行事業	53,547		53,547	発行額 5 億 5,000 万円
【みよし産業応援事業】新規事業展開者支援	1,146	その他 1,146		地域産品開発支援事業 2 件 三次産品ブランド化事業 6 件
リフォーム支援事業	22,838	その他 20,000	2,838	店舗 6 件 住宅 130 件
経営支援設備投資支援事業	4,886		4,886	11 件
小規模事業者経営改善資金利子補給事業	1,707		1,707	36 件
中小企業信用保証料補助事業	1,224		1,224	創業 8 件
中小企業融資支援制度	180,000	その他 180,000		小規模 新規：1 件 融資額：1,500 千円 経営安定 新規：4 件 融資額：33,000 千円
産学官連携事業	600		600	産学官連携セミナー開催 1 回 何でもサロン開催 2 回 産学官連携推進事業 新規 1 件
計	265,948	201,146	64,802	

イ 雇用の確保と維持に向けた企業誘致と企業支援

施策の概要

安定的かつ継続的な雇用の場を確保するため、積極的な企業誘致活動を行いました。

三次工業団地第Ⅲ期分譲地の完売後に選定した新たな産業用地（四拾貫産業用地，三良坂産業用地，東酒屋産業用地）の整備や誘致に向けた情報発信を行いました。

施策の成果

さらなる産業の振興と定住促進のため、四拾貫産業用地を紹介するパンフレットを作成し、誘致活動などを行いました。

市内に立地した企業の相談や支援をするための企業訪問，産業用地への企業誘致活動，オフィスビジネス系事業所設置奨励金のPR活動を行い，問い合わせや引き合いに対して丁寧な対応を行うことで，企業の定着・誘致に向けた取組を推進しました。



新たに作成したパンフレット

事務事業の実施状況

■ 企業誘致推進事業（産業振興部）

広島県が主催する企業立地セミナーでは，本市のプレゼンテーションを行いPRに努めました。その他，優遇制度説明会や各イベントに積極的に参加し，情報収集及び本市の産業用地や優遇制度，オフィスビジネス誘致の情報などを発信しました。

また，一般財団法人日本立地センターと連携し，全国に産業用地の情報発信を行ったほか，企業訪問による誘致活動を行いました。その他，市内立地企業の本社などを訪問し，情報収集と意見交換を行いました。



東京で開催された広島県主催のセミナー

■ 工場等設置奨励事業（産業振興部）

工場等設置奨励金6件，雇用奨励金2件（計16人雇用分），土地取得奨励金2件，地盤改良奨励金1件，設備等取得奨励金1件，水道助成金2件の交付を行いました。

■ 新たな産業用地の取組（産業振興部）

既に整備されている四拾貫産業用地について情報発信を行いました。

東酒屋産業用地については，県や関係機関と埋め立てのための協議を行い，埋め立て工事に着手しました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
企業誘致推進事業	4,781		4,781	市外訪問企業数 48社 （うち新規 24社）
工場等設置奨励事業	205,896	国県支出金 8,000 起債 99,400	98,496	工場等設置奨励金 6件 雇用奨励金 2件 （計16人雇用） 土地取得奨励金 2件 地盤改良奨励金 1件 設備等取得奨励金 1件 水道助成金 2件
計	210,677	107,400	103,277	

ウ 活力あるお店づくりとにぎわいの創出

施策の概要

活力とにぎわいの溢れる商店街の再生、元気なお店づくりを進めるため、空店舗の解消や、特色あるイベントの開催支援など、ハードとソフトの両面から事業の推進に努めました。

施策の成果

みよし産業応援事業の中で中小企業者支援3事業と商店街等支援1事業による補助（32件）を行い、商店街や商店などの事業展開の支援を行いました。

意欲ある商店や商店街の独自性のある取組の支援を通じて、活力あるお店づくりとにぎわいの創出を推進しました。

事務事業の実施状況

■ 【みよし産業応援事業】中小企業者等支援（産業振興部）

積極的に事業を展開する事業者を支援して産業の活性化を図るため、販路拡大支援事業（8件）、新規開業支援事業（10件）、空店舗出店支援事業（3件）により中小企業者の支援を行いました。

■ 【みよし産業応援事業】商店街等支援（産業振興部）

商店街のにぎわいと活力あるお店づくりを進めるため、商店街等活性化支援事業（11件）により商店街などの支援を行いました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
【みよし産業応援事業】 中小企業者等支援	4,714	その他 4,714		販路拡大支援事業 8件 新規開業支援事業 10件 空店舗出店支援事業 3件
【みよし産業応援事業】 商店街等支援	878	その他 878		商店街等活性化支援事業 11件
計	5,592	5,592		

エ ものづくり・商売に携わる人材の育成と起業促進

施策の概要

産業界が必要とする人材の確保、育成を行うため、企業とのマッチングや職業訓練による人材の育成を進めました。また、女性や若者、高齢者を対象に、新たな価値を創造する新規起業者の掘り起こしと支援を行いました。

施策の成果

職業訓練委託事業により、従業員のスキルアップによる企業への支援と、資格取得などによる就職の促進を図りました。雇用労働対策協議会を中心に行った就職・就農・定住相談・面接会では、企業34社、就職希望者24人の参加があり、うち5人の就職につながりました。

事務事業の実施状況

■ 雇用労働対策事業（産業振興部）

雇用労働対策協議会の活動として、就職・就農・定住相談・面接会の開催、企業ガイドブックの発行、みよし就活ネットなどの事業を行いました。また、高校生キャリア育成事業として、市内高校3校の2年生を対象とした企業説明会及び企業見学（企業10社、2年生331人）を行い、将来を見据えた三次市内企業への就業と定住の促進及び企業のPRに取り組みました。



三次市就職・就農・定住相談・面接会



高校生キャリア育成事業企業見学

■ 職業訓練委託事業（産業振興部）

就職活動中の市民及び市内事業所の従業員を対象とし、受講料無料で委託訓練事業を行い、求職者の就業機会の拡大と市内企業の従業員のスキルアップに努めました。スキルアップや資格取得受験準備など企業や求職者などのニーズに即した28講座を開設し、264人の受講がありました。

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
雇用労働対策事業	937		937	就職・就農・定住相談・面接会 参加 24 人 企業ガイドブック 印刷・配布 1,500 部 高校生キャリア育成事業 市内高校 2 年生 331 人
職業訓練委託事業	9,999	その他 9,999		講座数 28 講座, 受講者 264 人
計	10,936	9,999	937	

(4) 観光 ～人が集まり、にぎわいがあるまち～

ア 美しく懐かしい風景と伝統を活かした魅力の向上

施策の概要

三次地区の歴史、文化、芸術などを活かして、本市の観光・交流人口の拡大、観光消費額の増加を図るとともに、三次地区の歴史、伝統及び文化に学び、継承する取組を通じて、郷土への誇りの醸成と交流による創造的な活動の活性化を図るため、美しい景観づくりに向けた三次町の歴史的な街なみ整備や三次地区拠点施設を核とした三次地区の文化・観光まちづくりの推進など、三次まるごと博物館事業に位置付く各種取組を行いました。

施策の成果

三次町の歴史的な街なみ整備の一環として、これまでに進めてきた石畳整備や電線の地中化に加え、家屋の修景整備を継続的に進めてきたことにより「趣」のある街なみ景観が形成されています。

また、平成31年4月26日に日本初の妖怪をテーマとした博物館「湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）」と「三次地区文化・観光まちづくり交流館」が開館し、これを契機として、平成29年度に発足した「三次地区の文化・観光まちづくりを進める会」などにより、官民が一体となった文化・観光まちづくりの取組が進められ、徐々ににぎわいが生まれてきています。

事務事業の実施状況

■ 三次町歴史的地区環境整備事業（建設部）

三次町の上市・太才通り、三次本通りの沿道地区（延長約1.4km）において、歴史的環境の保全や資源の活用を通して、居住環境の向上と地域活性化を図るため、建築物などの修景に対する補助金の交付を行っています。令和元年度は1件の補助金交付を行い、平成12年度から行ってきた補助件数は51件となりました。

湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）の開館により、多くの方が三次町を訪れている中、三次町エリアの回遊性をさらに向上させる必要があります。市民が誇りに感じられる景観の形成に向け、今後も歴史的な街なみ整備を推進していきます。



三次町歴史的街並み景観形成地区



三次地域交流館 木綿兎（もめんと）

■ 町家再生創造拠点化事業（建設部）

平成28年度から、三次町の町家再生を通してまちの魅力を高め、にぎわいを創出する取組を進めています。平成29年度には、この事業で実施したワークショップ参加者が、空き家を自ら購入し及び改修して、カフェを開店するといった成果も生まれています。

平成30年度は「食」をテーマに、令和元年度は「マルシェ」と「街」をテーマにワークショップや講演会を行う中で、商店街や地域住民との連携強化及びキーパーソンの抽出にもつながりました。その結果、11月には地域が中心となって「みよし町マルシェ」が開催され、人と人が交流する街のにぎわいが創出されました。



ワークショップの様子
(令和元年11月16日)



マルシェの様子
(令和元年11月24日)

■ 三次地区拠点施設運営事業（経営企画部、産業振興部）

日本初の妖怪をテーマとした博物館「湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）」は、民俗学者で妖怪研究家の湯本豪一氏から寄贈を受けた約5,000点の妖怪関連資料と、三次を舞台とする妖怪物語「稲生物怪録」、楽しみながら妖怪について学べる体験施設「チームラボ 妖怪遊園地」などにより、大人から子どもまで楽しめる施設として、併設する「三次地区文化・観光まちづくり交流館」とともに、平成31年4月26日に開館しました。

開館に向け、三次地区や観光団体、経済団体などで構成する「三次もののけミュージアム開館記念事業実行委員会」を組織し、開館記念事業を実施するに当たり、実行委員会へ支援を行いました。実行委員会を中心として、オープニングイベントに取り組んだ結果、オープンからゴールデンウィーク終了までの11日間の博物館入館者数は28,680人で、盛況のうちにスタートを切ることができました。

博物館では、開館記念展「妖怪文化の精華～湯本豪一コレクションの粋」など4回の企画展を開催し、様々な切り口で日本の妖怪文化を紹介しました。企画展と合わせて、関連ワークショップの実施や、前国際日本文化研究センター所長小松和彦氏による講演会を実施し、気軽に妖怪に親しむことのできる機会や学術的な学びの場を設けました。

入館者数は、5月23日に34,400（みよし）人、9月21日に10万人目の来館者を迎え、当初目標を上回る14万1,769人でした。

インバウンドへの取組として、英語版リーフレットの作成を行ったほか、海外からの取材（台湾、ニュージーランド）を受け入れ、またアメリカ・ニューメキシコ州フォークアートミュージアムへの作品の貸出を行い、妖怪文化の世界発信を推進しました。

その他の広報活動として、平成30年度に引き続き、年4回広報誌「もののけだより」の市内全戸配布、メールマガジンの配信に加え、SNSの活用により、博物館公式Facebook、新たにTwitterを開設し、企画展情報などの迅速な情報発信に努めました。情報誌への広告掲載、新聞・テレビなどのマスコミにも多く取り上げられ、広報の充実を図りました。

さらに、本施設は、「文化・観光」による集客施設としての役割、三次地区でこれまで進めてきた、電柱の地中化や石畳舗装、街路灯や小路の整備などをあわせた「三次まるごと博物館事業」の核としての役割もあることから、集客はもとより商店街への街歩きの増加による地域の活性化をめざすため、「2019 三次物怪まつり」への参加をはじめ、比熊山登山など夏休みイベントの共催、一般社団法人みよし観光まちづくり機構との共同企画による「ぶらりもののけクイズラリー」の開催（約 500 人参加）、一般社団法人みよし観光まちづくり機構による「三次もののけマルシェ」（3回）や冬の集客イベントの実施、旅行会社などへ街歩きの紹介を行いました。

また、来場者などの利便性向上や施設の充実を図るため、道路標識の設置や広場の芝生化のほか、バス停への待合シェルター設置にも取り組みました。



オープニングイベント
「三次もののけフェスティバル」



2019 三次物怪まつり
仮装百鬼夜行

■ 鶺鴒伝統文化保存継承事業（産業振興部，教育委員会）

三次を代表する伝統文化である鶺鴒を次代に伝えていくため、鶺鴒匠や舵子の賃金、鶺鴒の餌代などに補助しました。

■ 神楽魅力アップ事業（産業振興部，教育委員会）

市内の神楽団6団体が加入する「三次市観光振興神楽協議会」が行う、各種イベント出演の助成を行いました。協議会では、神楽魅力づくり助成事業として、協議会に加入する神楽団のうち2団体に備品購入の助成をしました。令和2年1月には、加入6団体が出演する「第3回三次市神楽共演大会」を三次市民ホールきりりて、三次市観光協会と共催しました。



三次市神楽共演大会



フォトセッションコーナー

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
三次町歴史的地区 環境整備事業 《下段：繰越明許分》	2,175	国県支出金 1,087	1,088	修景補助件数(1件)
	4,443	国県支出金 1,666	2,777	広場の設計
町家再生創造拠点 化事業	4,954	国県支出金 2,477	2,477	ワークショップ, 講演会(2 回)
三次地区拠点施設 運営事業 (博物館分) 《下段：繰越明許分》	59,637	その他 59,637		企画展年4回 出前講座6回 ワークショップ3回 入館者数 141,769人 入館料収入 61,375千円 ショップ売上収入 15,317千円
	28,016	起債 12,200 その他 15,816		
三次地区誘客促進 事業補助	24,987		24,987	開館記念事業開催中の入館者数 28,680人
鶺鴒伝統文化保存 継承事業	14,412		14,412	鶺鴒伝統文化振興会へ補助
神楽魅力アップ事 業	2,500		2,500	神楽共演大会入場者数 628人 神楽団への出演料助成 14件 備品購入費助成 2件
計	141,124	92,883	48,241	

イ 観光資源を活かした集客力の向上

施策の概要

三次の魅力を感じてもらうため、観光施設の周遊と宿泊者の満足度向上などをめざして開始した「三次市観光宿泊・スポーツ合宿助成事業」は7年目となり、制度のPRを積極的に行うとともに、平成28年度からスポーツ・文化の合宿・大会については連泊も助成対象とし、宿泊客や観光消費額の増加に努めました。

4月に開館した湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）を含む三次地区と、これまでに多くの観光客の来訪がある酒屋地区との周遊を図るための取組を行いました。

また、「三次市観光キャンペーン実行委員会」に補助を行い、オール三次観光交流キャンペーン事業などにより観光PR、観光客誘致拡大などの活動を支援するとともに、各観光協会に対する運営補助のほか、各種機関・団体などが開催する地域イベント・行事への運営補助を行い、観光振興を図りました。

施策の成果

これまでの取組として戦略的に酒屋地区に魅力ある施設を集結させることで、エリアの魅力を高め、目的地として選ばれるようになったことに加え、湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）の開館にあわせて、三次地区への集客を図ることで、令和元年度の総観光客数は347.5万人と過去最高になりました。周遊地点数の増加に伴い滞在時間が延伸され、観光消費額の上昇にもつながりました。

「三次市観光宿泊・スポーツ合宿助成事業」については、協賛施設に制度の周知に協力いただき、利用は18,252件と、平成30年度よりも多くの利用がありました。

オール三次観光交流キャンペーン事業では、三次ならではの食である「霧のまちのぐるめぐり」を活用したグルメスタンプラリーの実施や、三次観光イメージキャラクター「きりこちゃん」と県内の様々なイベントへ参加し、「みよし」の知名度アップにつなげていきました。

そのほかにも、5月21日に開催されたプロ野球公式戦「広島東洋カープ対中日ドラゴンズ」では、13,836人の来場者でにぎわいました。

事務事業の実施状況

■ 三次市観光宿泊・スポーツ合宿助成事業（産業振興部）

宿泊施設と観光・土産施設またはスポーツ・文化施設でスタンプが押印されると、登録された協賛施設で1,000円のクーポン券として利用できる助成事業を行いました。

■ 観光協会などへの運営補助（産業振興部）

各地域の観光協会などに対し、運営に係る補助を行いました。

■ 地域イベントへの開催補助（産業振興部）

各種機関・団体などで構成する実行委員会が開催する地域イベント・行事に対し、開催補助を行いました。

■ 三次市プロ野球公式戦開催実行委員会への支援（産業振興部）

三次市プロ野球公式戦開催実行委員会が実施する2019年プロ野球公式戦「広島東洋カープ対中日ドラゴンズ」の事業に対し、支援を行いました。また、市民にプロ野球の観戦の機会を提供し、スポーツの振興と青少年の健全育成を図ることを目的として、マツダスタジアムの年間指定席を購入し、市民を対象に特別料金でチケットの販売を行いました。



2019年プロ野球公式戦

（単位：千

円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
三次市観光宿泊・スポーツ合宿助成事業	19,452	その他 15,000	4,452	クーポン利用 18,252 件 パンフレット作成 30,000 部
観光推進事業補助	44,174		44,174	観光協会（5 団体） 34,934 千円 全市的イベント 9,240 千円
地域イベント開催補助	15,554		15,554	14 事業
プロ野球公式戦開催実行委員会負担金	3,976		3,976	プロ野球公式戦来場者数 13,836 人 マツダスタジアム年間指定席 22 席
計	83,156	15,000	68,156	

ウ 観光推進の組織づくり・情報発信機能の強化

施策の概要

入込観光客を増やすため、テレビ番組の放映や旅行雑誌への掲載などにより三次の観光を PR し、観光客誘致を図りました。本市が保有する豊かな観光資源と、各種機関・団体などが開催する地域イベントなどを、季節に応じて一体的に取りまとめ、新聞紙面などの広報媒体の活用やインバウンド誘客を図るため台湾の旅行雑誌への広告掲載を行いました。

三次市観光キャンペーン実行委員会へ補助を行い、ホームページへの観光情報の掲載や「三次市観光公式サイト」の Facebook など常態で旬な情報を提供できる体制づくりを行いました。また、三次版DMOである「一般社団法人みよし観光まちづくり機構」や市内各観光協会と市全体での観光推進体制構築のため連携強化を図りました。

施策の成果

中国やまなみ街道の全線開通の効果を最大限に活かすため、岡山県や四国方面を中心に広報媒体の活用や PR 活動を行いました。また、広島県内に向けては、3分間の三次市観光情報番組を制作し、再放送を含めて46本を放送し、三次の観光を PR することで、観光客誘致につなげました。

事務事業の実施状況

■ 三次市観光情報番組やコマーシャルなどによる観光情報発信事業（産業振興部）

本市の観光情報をお知らせする番組「好きです！みよし」による情報発信を行いました。テレビのほかに広島本通りの街頭ビジョンで番組宣伝を放映するなどして、認知度の向上に努めました。

三次市観光プロモーション事業では、本市の魅力をさまざまなメディアで発信するため、観光プロモーション映像を制作し、広く三次のイメージを発信しました。

■ 観光 PR 配布物等作成事業（産業振興部）

本市の観光案内ガイドブックを刷新し、みよし満喫ガイドブック「三次の楽しみ方」を発行しました。あそんでよし！みてよし！たべてよし！の観光素材をふんだんに盛り込みました。



観光案内ガイドブック

■ 観光客実態調査事業（産業振興部）

観光客のニーズや満足度を把握するため、対面によるアンケート調査を行いました。

■ 無料 Wi-Fi 事業（産業振興部）

外国人にも対応できる無料 Wi-Fi（無料公衆無線 LAN）として、湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次ものけミュージアム）を含めた市内5ヶ所に HIROSHIMA FREE Wi-Fi のアクセスポイントを設置しました。このアクセスポイントの接続記録を分析して、観光客の市内の周遊状況を調査しました。

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

また、HIROSHIMA FREE Wi-Fi を活用した情報発信として、観光客などが広島市内の8拠点で無料 Wi-Fi にアクセスした際に市内の観光スポットの広告を表示するアプリ「ささっとパンフ」の整備をしました。

■ 三次版 DMO 事業（産業振興部）

観光のマーケティングとプロモーション事業を行う三次版 DMO「一般社団法人みよし観光まちづくり機構」の活動に対し補助を行いました。

■ 【観光キャンペーン実行委員会事業】三次市観光公式サイトへの更新（産業振興部）

「三次市観光公式サイト」のコンテンツの作成を官民一体で行いました。また、Facebook や Twitter を活用し、旬な情報を提供しました。

■ 【観光キャンペーン実行委員会事業】三次市多言語パンフレット等作成支援事業（産業振興部）

三次市内の観光施設のパンフレットについて、訪日外国人のための多言語パンフレットの作成に係る費用を助成しました。

4事業に対して助成を行い、訪日外国人が本市を訪問した際に活用できるようになりました。



多言語化されたパンフレット
(奥田元宋・小由女美術館)

■ 【観光キャンペーン実行委員会事業】観光イメージキャラクターグッズ事業（産業振興部）

霧のまちのぐるめぐり認定店とみよし地産地消認定店をめぐる、「霧のまちぐるめぐりみよしグルメスタンプラリー」を行い、観光施設などの周遊促進を図りました。また、三次観光イメージキャラクター「きりこちゃん」の PR グッズを作成し、様々な場面での PR 活動を展開しました。スポーツ庁の『FUN+WALK PROJECT』をサポートするアプリにきりこちゃんを登録し、認知度を高める取組をしました。



アプリ画面

■ 【観光キャンペーン実行委員会事業】みよし KINSAI イルミネーション事業（産業振興部）

三次駅前イルミネーションで装飾を施し、冬の三次への誘客とおもてなしの向上を図りました。さらに、湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）の開館 PR の一環として、博物館周辺へのもののけキャラクターの LED パネルの設置支援をしました。



イルミネーション（三次駅前ロータリー側） イルミネーション（国道183号側）

■ 【三次市観光キャンペーン実行委員会事業】観光おもてなしガイド養成講座（産業振興部）

観光ボランティアガイドの新たな人材を発掘・育成するために、7年目となる三次市観光おもてなしガイド養成講座を行いました。



ガイド養成講座（座学研修）



ガイド養成講座（現地研修）

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
情報発信事業	15,953		15,953	テレビ放送 46回 新聞紙面広告 3回 雑誌等誌面広告 6回 路面等広告 2回 PR 動画制作 4言語対応
観光PR配布物等作成事業	3,465		3,465	観光ガイドブック 30,000部
観光客実態調査事業	3,677	その他 3,676	1	アンケート調査 12月
無料Wi-Fi事業	963		963	設置箇所 5ヶ所 ささっとパンフ配信 接続ログ分析調査
三次版DMO事業	56,616	その他 56,615	1	(一社)みよし観光まちづくり機構補助
三次市観光キャンペーン実行委員会補助	41,000		41,000	
・ホームページ更新	(2,000)		(2,000)	記事掲載 71件 Facebook「いいね」件数 2,344件 Twitter フォロワー 1,086人
・多言語パンフレット等作成事業補助	(742)		(742)	4事業
・観光イメージキャラクターグッズ事業	(2,621)		(2,621)	『FUN+WALK PROJECT』に登録 きりこちゃんグッズの作成
・イルミネーション事業	(2,869)		(2,869)	11月23日から2月14日まで
・ガイド養成講座	(234)		(234)	全7回 受講者数 31人
計	121,674	60,291	61,383	

(5) 定住・交流 ～ちょうどいい田舎まち～

ア 定住のまちづくり

イ 交流の推進

施策の概要

(一社)持続可能な地域社会総合研究所による「地域人材育成・派遣事業」に伴う地域分析・調査報告書において、若い女性の転出超過による影響が喫緊の課題とされていることから、定住促進を図るため、ずっと住みたいまちをめざす「ずっと住みたいまち本部」(以下、「すみまち本部」)を立ち上げました。特に若いUIターン女性をメインターゲットにした魅力あるライフスタイルなどの情報発信をはじめ、市内出身者や二地域居住者、「ふるさとサポーター」などの地域や地域の人々と多様に関わる関係人口や、市内での世代や組織を越えた人と人のつながりをさらに進めるツナガリ人口などの拡大により、定住につながる「ずっと住みたいまち」をめざします。

施策の成果

広島県交流・定住促進協議会やNPO法人ふるさと回帰支援センターが主催する大都市圏での定住フェアに参加し、地方での田舎暮らしを希望する移住者の相談を受け、三次暮らしをアピールしたほか、定住促進チラシの配布、UIターン者のラジオ出演や新聞、移住専門雑誌への記事掲載などメディアを通じて本市の魅力ある住環境を広く発信しました。また、若者の新たな定住対策として、11月に広島市において就職セミナーを開催し、県内大学生に本市で活躍されているUIターン者からの地域資源を活かしたビジネスづくりの紹介や、実際に三次で週末を過ごす二地域居住の実践者の取組など、本市での働き方を紹介しました。

UIターン者の定住については、住宅取得・改修助成などの支援策を利用し166人が定住されました。

ふるさと納税は寄附件数の増加を図るとともに、お礼商品の提供を通じて、本市の魅力を全国に発信するため、令和元年度にWeb上での受付窓口を1ヶ所追加しました。また、都市部で新聞広告を掲載するなどの取組により、寄附額は増加しました。地域おこし協力隊は、令和元年度に任期を終えた隊員3人のうち、2人が本市に定住し、それぞれの分野で活動しています。また、三次市ふるさとサポーター登録者には、UIターンの人々の三次での暮らしや活動の紹介、注目のスポットなど三次の魅力伝えるリーフレットを配布し、本市の旬な情報を伝えました。



NPO法人ふるさと回帰支援センター 定住相談会



広島県交流・定住促進協議会 東部フェア

事務事業の実施状況

■ (新) ずっと住みたいまち本部（地域振興部）

令和元年10月から始まった「すみまち本部」では、地域活動の実践者やUターン者など、主体的な活動が可能な6人のメンバーを本部員に任命し、1回の本部会議、4回のプロジェクト会議を開催し、実績や経験を踏まえて自由な発想で、定住対策や地域活性化に向けた取組を、提案・実践しました。また、11月に首都圏において開催したふるさとサポーター交流会では、「すみまち本部」メンバー、本市出身者や本市にゆかりのある方、首都圏で活躍されている方など53人が交流を図りました。あわせて、庁内組織である「定住促進本部」と連携・共有を図り、本市の定住施策へ意見をいただきました。

■ 空き家情報バンク制度（地域振興部）

市内の空き家（新規登録43件）を登録し、ホームページなどで紹介しています。市外在住の利用希望者からの相談が247件あり、地域の集落支援員と連携しながら、現地案内を30件行った結果、5世帯13人が移住されました。

また、ホームページに掲載している登録情報閲覧によって市内間での契約成立も16件あり、市内空き家の有効活用ができました。

■ 空き家購入サポート事業（地域振興部）

空き家情報バンク制度を通して物件を購入し、定住のために改修する場合、改修費用の一部を補助する事業を行い、4件交付しました。

■ 空き家バンク家財等処分費用補助事業（地域振興部）

空き家情報バンクに登録する（している）物件の、家財などを処分する際の委託費用の一部を空き家の所有者、または購入者に補助するもので、7件の利用がありました。



空き家情報バンク登録物件

■ Uターン者住宅・店舗改修事業（地域振興部）

実家の所有者がUターン者のために自家を改修する場合、改修費用の一部を助成する事業を行い、15件交付しました。この支援制度を利用して、25人が定住されました。

■ 移住者住宅取得支援事業（地域振興部）

転入して3年未満の移住者または移住希望者が市内に住宅を新築した場合の取得費用、または、中古物件を購入した場合の取得費用もしくは住宅の改修費用に対して一部を補助する事業で41件交付しました。この支援制度を利用して、123人が定住されました。

■ 宅地購入・新築奨励金交付事業（地域振興部）

Uターン者が市内に住宅を新築し、他の事業の要件に該当しない場合に家屋の固定資産税相当額を5年間助成する奨励金交付事業を行い、27件交付しました。（うち新規申請件数2件）

■ 定住相談事業（地域振興部）

広島県交流・定住促進協議会やNPO 法人ふるさと回帰支援センターが主催する定住相談会に参加し、田舎暮らし・ひろしま暮らしに関心のある人に本市の魅力伝えるとともに、48組59人に空き家情報バンクをはじめとする住まいや子育て、医療などの情報提供や各相談に応じました。

また、広島県と県北部の5市町との共催で「食」をテーマとした移住フェアを行いました。各市町から持ち寄った特色のある食べ物を通じて、そこでの職や地域性などの紹介をしました。若者の就職・定住支援として、三次市雇用労働対策協議会と開催した合同就職説明会では、市内企業に就職を希望する24人が集まり、参加した34社とのマッチングを図りました。また、新たな取組として11月には就職セミナーを開催し、県内の大学生23人に本市で活躍されているUターン者からの地域資源を活かしたビジネスづくりの紹介や、実際に三次で週末を過ごす二地域居住の実践者の取組など、本市での働き方を紹介しました。



北部フェア（in 東京）



就職セミナー（左：チラシ 右：集合写真）

■ 定住対策情報発信（地域振興部）

ラジオ出演を通じてUターン者への支援メニュー、特色ある各地域の取組、本市に移住された方のきっかけや体験談などを、県内リスナーを中心に発信したほか、市広報紙やケーブルテレビなどを通じて支援策を市民に周知することで、市外に暮らす家族にも届くよう情報を提供しました。

また、全国に向けて本市の魅力伝えるため、移住専門雑誌の特集ページに、実際三次に住んでいるUターン者取材しながら、地域資源もあわせて紹介するなど、ツナガリ・関係人口を増やすため、積極的な情報発信を行いました。



移住専門雑誌で三次の情報を掲載

■ ふるさと納税（地域振興部）

ふるさと応援寄附金の増加を図るため、寄附しやすい寄附金額の設定、お礼のふるさと産品の種類や商品の組み合わせの変更をおこない、お礼産品を充実させました。また、新聞への広告掲載や寄附サイトのお礼産品特集への応募、三次市ふるさとサポーターや県外の同窓会へのチラシ送付などにより、積極的にふるさと納税の呼びかけを行いました。

インターネット上の寄附受付窓口を新たに1ヶ所追加し計4ヶ所としたほか、決済方法の種類を増やした効果もあり、令和元年度の寄附金額は、4,296件、66,851千円となり、前年に比べ1,228件16,644千円の増加となりました。



令和元年度人気上昇「TOMOE ワイン」

■ 新たな婚活事業（地域振興部）

定住促進を目的に、独身男女が自然と知り合うきっかけづくりとして、県内で活動するフリーアナウンサーのバーゲル・ルミさんを講師に招き、2日間の英会話レッスンを開催しました。両日も男女あわせて9人ずつの参加があり、簡単な英語での自己紹介からはじめ、英会話を通じてお互いに知り合い、交流することができました。

また、このレッスンの前段階として、参加男性の印象アップセミナーと題し、本市在住のフリーアナウンサー・イメージコンサルタントである徳永真紀さんを講師として招き、シャケパンスタイル講座を開催しました。14人の参加があり、参加者それぞれのパーソナルカラーなどから、自身に似合うネクタイの柄や色を見つけるなど、印象をアップさせる方法を学びました。

また、市内の結婚支援グループの活動に対して結婚コーディネーター事業補助金を交付し、取組を支援しました。計4回行われたイベントには男女計159人が参加されました。



英会話レッスン後の懇親会



似合うネクタイを講師に選んでもらう様子

■ 地域おこし協力隊事業（地域振興部）

都市部から地域社会の担い手として地域おこし協力隊員を受け入れ、ワカモノの新たな視点から、それぞれの活動を通じて、地域の活性化を図りました。

ピオーネ栽培や酪農への就農をめざす隊員、新たな観光資源である「もののけ」のデザイン化や自身も烏天狗となり、本市の知名度アップを狙う隊員などがそれぞれ関係する地域や施設で活動しました。

令和元年度に任期を終えた隊員3人のうち、2人が本市に定住し、それぞれの夢に向かって活動しています。



ピオーネ生産組合員をめざす
地域おこし協力隊員活動

■ 地域おこし協力隊起業支援補助事業（地域振興部）

平成30年度に任期を終えた隊員が市内で起業するため、この制度を利用しました。食品や雑貨などを移動販売するために必要な機材などの購入に充てています。

■ 三次市ふるさとサポーター事業（地域振興部）

本市の魅力を全国に発信し、全国各地から本市を応援していただくために、本市出身者やゆかりのある方、本市に関心がある方に登録を呼びかけています。会員には本市の旬な情報のリーフレットを送付しました。登録者の多い首都圏では交流会を開催し、約53人のメンバーと親睦を深めました。（3月末登録者数：809人）



三次市ふるさとサポーター交流会 in 東京

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
ずっと住みたいまち本部	152		152	東京交流会参加者 53人 本部会議 1回 プロジェクト会議 4回
空き家情報バンク制度	106		106	新規登録件数 43件 現地案内件数 30件 移住者数 5世帯 13人 セカンドハウス利用者数 1世帯 2人 (市内間契約 16件)
空き家購入サポート事業	4,278		4,278	4世帯 8人 (うち小学生以下 1人)
空き家バンク家財等処分 費用補助事業	839		839	利用件数 7件
Uターン者住宅・店舗改 修事業	12,939		12,939	15世帯 25人 (うち小学生以下 3人)
移住者住宅取得支援事業	41,513		41,513	41世帯 123人 (うち小学生以下 51人)
宅地購入・新築奨励金 交付事業	1,636		1,636	交付件数 27件 (新規申請件数 2件)
定住相談事業 定住フェアなど 就職セミナー	747		747	相談者 48組 59人
定住対策情報発信(パン フレット・チラシ・雑 誌・ラジオ)	6,578		6,578	専門雑誌 1社 チラシ・リーフレット 1,000部 ラジオ出演 20回
ふるさと納税(発送・手 数料等の経費)	31,683		31,683	寄附件数 4,296件 寄附金額 66,851千円
新たな婚活事業	1,782	その他 1,697	85	イベント参加者延 32人 団体活動補助(結婚コーデ ィネーター事業補助金) イベント回数 4回 参加者 159人
地域おこし協力隊事業	21,223		21,223	隊員数 6人
地域おこし協力隊起業支 援補助事業	1,000		1,000	利用者 1人
三次市ふるさとサポータ ー事業	716		716	登録者数 809人
計	125,192	1,697	123,495	

